

丸子町農産物直売センター農産物栽培情報

NO,4

2003年
12月1日
発行

まきどき・植えどき・収穫どき どきどき情報 12月

野菜の作業

旬	種まき	植付け	収穫	栽培管理のポイント
上旬	二十日大根 品種：コメット ハウレンソウ 品種：ホライ・トライ	—	葉ネギ～12上 チゲンサイ～	野鼠・モグラ対策 暖かいハウス内やワラを積んだ所で越冬。穴を見つけて殺鼠剤で駆除する。 (殺鼠剤は毒物・劇物：取扱注意を)
中旬	小松菜 ハウス育苗型の春レタス	追肥 アスパラガス 石灰や有機質を畦間に散布し、	ナガイモ～12中 小松菜～	ハウス育苗春レタスの栽培 ・育苗培土は市販のものが良い ・コーティング種子を用いる場合は覆土は少なめにすると発芽が揃う
下旬	(パイハウスと温床線が必要)	できるだけ耕して畦土を戻しておく	二十日大根～ ハウレンソウ～	・床温は温床線により18℃を保つ ・不織布により保温を行う

野菜の貯蔵について (野菜を長期に貯蔵して楽しみましょう)

貯蔵中も野菜は生きている!

野菜は貯蔵中も新陳代謝を続けながら熟しており外見上も内容的にも変化します。この変化を少なくすることが貯蔵のポイントとなります(室内での保存は特に温度・湿度に注意しましょう)

・保存の仕方は、呼吸をしているので栽培中と同じ格好が望ましい

【室内貯蔵】

品目名	予備乾燥等の目安について	室温等注意事項
キャベツ ハクサイ	・9割程度の結球のものが良い ・外葉2～3枚付け、切り口を上にして4日程度乾かす ・1個ずつ新聞紙で包んで貯蔵	・室温0～5℃が良い ・深めの容器に立てて並べる (積み重ねは腐る原因)
ネギ	・良く肥大したものを選ぶ ・風通しの良い場所で3日程度乾燥させる ・枯れ葉をかき取って2～3本ずつ新聞紙で包む	・室温0～5℃が良い ・長めの容器に根を下にしてゆるめに保管する
ダイコン 人参・ゴボウ	・葉は切り取る ・ス入りや傷が無いものを泥付きのまま乾かす	・室温0～5℃が良い ・有孔ポリ袋に入れ保存
タマネギ	・予備乾燥の後、できるだけ乾いた室内で保存 ・保存は重ねても良いが室温が高くなるほど芽が出やすい	・室温0～5℃が良い ・湿度が高いと腐り易い

【屋外保存】

品目名	埋土貯蔵法	注意事項
ダイコン 人参 ゴボウ	・ダイコン、人参はできれば立てて保存できる深さの穴が望ましい(呼吸による消耗が少ない) ・ダイコン、人参は葉切り後、土付きのまま保存 ・ゴボウは葉切り後5本程度にまとめ間には土をはさむ	野菜類の上には10cm程度の厚さに稲ワラを掛け、その上から土をかぶせる

花の作業

キクの管理【母株の管理】

無加温栽培の場合、挿し芽予定の約65日程度前に冬至芽を摘み取って挿し芽を行い十分に発根したところで親株床へ植え付けます。活着したら生長点（頂部）をピンチ（摘芯）して側芽（挿し穂）の伸長を促します。温度管理の目安は日中15～20℃、夜間5℃とします。日中は換気に注意し暑くなり過ぎないように管理をして下さい。むしろ冷たい外気が当たらないのなら少し涼しい程度の管理の方が良いでしょう。軟弱な「挿し穂」ができてしまうのは育苗期の過湿と高温です。注意して下さい！

【病虫害防除】

・白さび病、アブラムシは育苗中から問題となります。防除を徹底しましょう！

病虫害名	薬剤名	倍率
キク白さび病	サプロール乳剤	1,000倍
アブラムシ	オルトラン水和剤	2,000倍

果樹の作業

12月はリンゴ腐らん病の防除の時期です！

【腐らん病防除】腐らん病は、収穫後の果台や剪定の切り口から主に感染します。初冬から春先に掛けてが最も感染しやすい時期です。多発園では落葉後の暖かい日を選び「石灰硫黄合剤」10倍液を樹全体に掛かるよう散布しましょう。

ブドウは寒さに弱い果樹です！

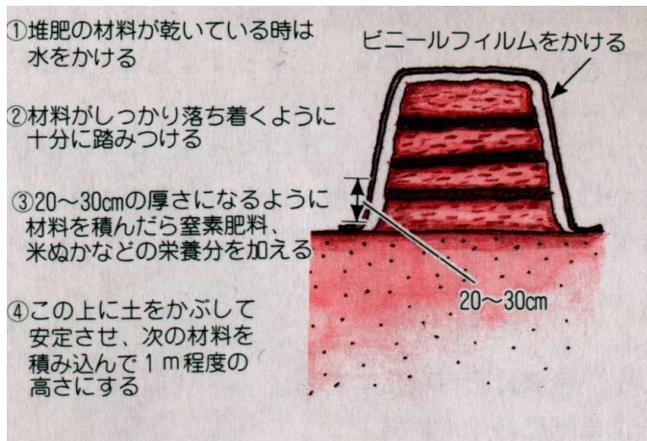
【防寒対策】来年2～3月の冷え込みにより「ねむり病」が発生する恐れがあります。この時期にワラや反射マルチ等を用いて防寒対策を行いましょ！方法は樹の幹に乾いたワラを巻き付け、その上から反射マルチを巻きます。ワラの厚さは5cm程度とし口元から水が染み込まないようにしっかりと紐で結束して下さい。若木や樹勢が弱い樹程効果があります。

ウメの剪定の時期です！

【ウメの剪定】ウメは管理が行き届いていない放任園も多く見られますが、12月はウメの剪定の時期です。ウメの剪定は日当たりや作業性を第一に行いましょう！まず骨格枝の邪魔になっている太い枝から鋸を用いて間引くと良く日が当たるようになります。側枝は2/3程度に先刈りを行うと翌年の「成り枝」の育成ができます。

共通作業

【土づくり】



有機物の施用は土を軟らかくし、優良な微生物を増やします！

切りワラで優良堆肥を作りましょう！

ご自分で堆肥を作れない方は、JAで完熟堆肥「スーパーコン」を2tトラックでは場まで運びます（詳しくはJA営農センターまで）

【以上、技術事項についての作成協力：上小農業改良普及センター（電話 25-7157「担当：白石主任」）